

安芸高田市施策評価シート（平成24年度施策）

評価対象 施策名	多様な交流の推進	施策コード	作成者	所属	企画振興部 政策企画課
		11008		役職・氏名	課長 山平 修
		電話		0826-42-5612	

1. 施策の現状分析及び意図

総合計画 (基本計画)体系	基本方針	IV多様な生産と交流のまちづくり
	主要施策	2.交流のネットワークづくり

① 住民意識調査結果	住民の意識調査は行っていないが、過疎化が進行する中で、地域の活性化を図るためには、都市との交流の充実及び交流人口の拡大を推進するとともに、定住を促進するための情報提供を行う必要がある。	② 左記結果に対する現状分析、住民との協議結果
③ 施策の現状と課題	地域の活性化を図るために、広島広域都市圏協議会及び広島県内陸部振興協議会による、広域連携の学習及び交流ネットワークの形成や姉妹都市である防府市との交流等を実施している。空家バンクを活用した定住人口の拡大を視野に入れ、本市の強みである「神楽」や「毛利元就関係史跡等」を活用した取組みや観光施設の拡充、地産地消の推進により交流人口を増やすとともに、観光消費額を向上させる取組みが必要である。	
④ 施策の意図、今後の展望	広島市をターゲットにした交流人口の拡大 定住人口の拡大 地産地消の推進 観光消費額の向上	

2. 施策指標の検討・設定

現状の課題、意図、今後の展望のキーワード	考えられる施策指標候補	重点化
交流人口の増加	年間観光客数(神楽門前湯治村、歴史民俗博物館、史跡ガイド協会、ふれあいたかた産直市、道の駅「北の関宿」)	★
定住者の増加	空き家バンク成立件数	★
観光消費額の増加	年間観光消費額(神楽門前湯治村、歴史民俗博物館、史跡ガイド協会、ふれあいたかた産直市、道の駅「北の関宿」等)	★
土師ダム周辺整備事業の進捗	事業費からみた進捗率	★

施策指標名	単位	評価値の推移			目標値		他団体等の状況	指標の説明
		H22	H23	H24	H25	H27		
年間観光客数	目標	千人	1,250	1,300	1,450	1,450	1,484	
	実績		1,251	1,413	1,400	—	—	
	達成率	%	100.1	108.7	96.6	—	—	
年間観光消費額	目標	百万円	1,850	1,950	2,000	2,130	2,410	
	実績		1,879	1,925	1,789	—	—	
	達成率	%	101.6	98.7	89.5	—	—	
空き家バンク成立件数	目標	件	1	1	2	—	—	
	実績		1	2	4	—	—	
	達成率	%	100.0	200.0	200.0	—	—	
土師ダム周辺整備	目標	%		100	100			
	実績			100	90	—	—	
	達成率	%		100.0	90.0	—	—	

3. 施策構成事務事業の評価

事業種類 経費区分	CD	事務事業名	主な予算科目	H23決算	H24決算	H25予算	人員数(H24) 人件費	重要度	優先度	備考
				うち一財	うち一財	うち一財				
既存 ソフト事業	404	広域行政推進事業	2.1.7.1.1	429	431	491	0.53	普通	前年度並み配分	
既存 ソフト事業	504	空家バンク関係事業	2.1.7.1.1				0.27	高い	整理統合	人件費事業 H25から住宅政策課が所掌
既存 施設建設事業	545	土師ダム周辺整備事業	2.1.7.1.14	21,453	365,870		1.20	高い	H24完了	
既存 ソフト事業	546	未来創造事業	2.1.7.1.15	38,609	57,358	71,339	1.60	高い	重点配分	
				36,559	33,165	33,373	420,952			
合計				60,491	423,659	71,830	3.60			
				58,444	46,166	33,864	947,142			

4. 3以外で目的達成に必要な新規事業及び連携させる他機関の事業

事業主体	新規又は連携が必要な事務事業	説明
市(地域営農課)	担い手育成事業	就農者育成、営農法人の設立支援
市(商工観光課)	観光振興事業	姉妹都市等交流事業 観光協会設立準備

5. 施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
① 施策指標の分析	年間観光客数及び観光消費額は、平成24年度前年度に対しわずかに減少した。土師サイクリングターミナル立替によることと捉える要因であると捉えるが、神楽門前湯治村及び北の関宿は、増の傾向にある。一人当たりの観光諸費額の増を含め今後もPR活動、特産品開発及び販売力の強化に向け取組みを継続する必要がある。
② 平成25年度以降の課題(事務事業構成、役割分担)	とりわけ未来創造事業について、関係部局と連携し、具体的な取組みを進め誘客を増加させる必要がある。また、市の数ある特産の売り上げを伸ばすための施策を講ずる必要がある。
③ 総合評価(今後の展開、事務事業の見直し等)	「神楽の定期公演」、「高校生の神楽甲子園」、「神楽東京公演」は、いずれも成功裏に終了することができ、安芸高田市を広くPRすることにつながっている。平成24年度から発足した広島広域都市圏で「神楽まち起し協議会」を設置し、関係市町との連携による取組みも有効的に推進する必要がある。消費額を向上させるための、商品力や販売力向上をめざした戦略を関係事業者とともに早期に構築する必要がある。

政策への貢献度	高い	企画振興部長	(氏名)	竹本 峰昭
---------	----	--------	------	-------

安芸高田市施策評価シート（平成24年度施策）

評価対象 施策名	観光の振興	施策コード	作成者	所属	産業振興部 商工観光課
		18008		役職・氏名	特命担当部長兼課長 小田 忠
				電話	0826-42-4024

1. 施策の現状分析及び意図

総合計画 (基本計画)体系	基本方針	IV多彩な生産と交流のまちづくり
	主要施策	2.交流のネットワークづくり

① 住民意識調査結果	② 左記結果に対する現状分析、住民との協議結果	
③ 施策の現状と課題	市内には、厳島神社のような「集客の核」となる施設は無いが、スポーツや歴史・文化、自然など特色ある資源が多く存在している。こうした魅力ある資源を全市的に統括し、地域の誇りと交流人口の拡大に取り組む組織が未整備である。	
④ 施策の意図、今後の展望	観光交流は、地域資源の活用によって人の流れを興し、食事や宿泊、物販、交通等、地域経済の振興に繋がらなければならない。そのため、全市をカバーする「観光協会」を設立し、ふるさと応援の会や神楽協議会等の組織や施設等との地域内連携による情報の受発信を行う。	

2. 施策指標の検討・設定

現状の課題、意図、今後の展望のキーワード	考えられる施策指標候補	重点化
観光情報・組織の一元化	観光協会の設立	★
神楽公演の周知	神楽門前湯治村定期公演入助者数の確保	
観光情報の発信	パンフレット等の印刷	

施策指標名	単位	評価値の推移			目標値		他団体等の状況	指標の説明
		H22	H23	H24	H25	H27		
観光協会の設立	目標		1	1			設立	
	実績		0	0	-	-		
	達成率	%	0.0%	0.0%	-	-		
神楽公演集客数	目標		6,000	30,000	30,000	30,000	観賞者数	
	実績		34,079	37,999	-	-		
	達成率	%	568.0%	124.4%	-	-		
パンフレット印刷数	目標	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	情報発信	
	実績	20,000	23,000	15,000	-	-		
	達成率	%	100.0%	115.0%	0.8%	-		
	目標							
	実績				-	-		
	達成率	%			-	-		

3. 施策構成事務事業の評価

事業種類 経費区分	CD	事務事業名	主な予算科目	H23決算	H24決算	H25予算	人員数(H24) 人件費	重要度	優先度	備考
				うち一財	うち一財	うち一財				
既存 ソフト事業	400	観光振興事業	7.1.3	5,877	4,836		0.75	普通	前年度並み配分	
既存 ソフト事業	401	観光業団体支援事業	7.1.3	5,877	3,236		6,358	高い	重点配分	
既存 ソフト事業	402	観光振興施設管理運営事業	7.1.3	9,280	14,307		0.65	普通	前年度並み配分	
				9,280	14,307		5,510			
				11,978	15,091		0.50			
				11,978	15,091		4,239			
合計				27,135	34,234	0	1.90			
				27,135	32,634	0	16,107			

4. 3以外で目的達成に必要な新規事業及び連携させる他機関の事業

事業主体	新規又は連携が必要な事務事業	説明

5. 施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
① 施策指標の分析	観光協会については、年度内での設立は未達であったが、平成25年度早々の設立を達成することができた。また、神楽定期公演の観客数も漸増している。
② 平成25年度以降の課題（事務事業構成、役割分担）	観光協会の活動の充実を図り、周遊型の観光メニュー等の企画商品を提供する必要がある。更に、広域的な観光連携の検討も行う必要がある。
③ 総合評価（今後の展開、事務事業の見直し等）	市内全域の観光情報の一元化を図る組織を立ち上げることができた。交流人口の拡大を経済振興に結ぶため観光協会との緊密な連携を図る。

政策への貢献度	高い	産業振興部長	(氏名)	清水 勝
---------	----	--------	------	------